

# コロナウイルス文献情報とコメント(拡散自由)

2020年8月22日

## 1. 慢性閉塞性肺疾患(COPD)と喫煙は新型コロナ重症化をもたらす: システムティックレビューとメタアナリシス

### 【松崎雑感】

もともと禁煙運動をやっている者として、コロナとタバコの問題をしばしば取り上げます。喫煙者はコロナに感染した場合重症化しやすいという「当然の」情報ですが、これまでの多くの疫学調査で、コロナ感染者には喫煙者が少ないという「スモーカー・パラドックス」が報告されています。喫煙者でリスクが減るということは、農夫肺（牧草のカビによる過敏性肺臓炎）、潰瘍性大腸炎などで明らかにされています。昔、タバコを吸うとアルツハイマー病が予防できるという論文がたくさん出されたことがあります。断面調査だったため、発病するまで生き残っている人が喫煙者には少ないというバイアスによるものでした。さて、コロナとタバコではどうなのでしょう？今後の課題です。

# 慢性閉塞性肺疾患 (COPD) と喫煙は新型コロナ重症化をもたらす： システマティックレビューとメタアナリシス

Sanchez-Ramirez DC (Department of Respiratory Therapy, Rady Faculty of Health Sciences, University of Manitoba, Winnipeg, MB, Canada.), Mackey D. **Underlying respiratory diseases, specifically COPD, and smoking are associated with severe COVID-19 outcomes: A systematic review and meta-analysis** [published online ahead of print, 2020 Jul 30]. *Respir Med.* 2020;171:106096. doi:10.1016/j.rmed.2020.106096

**背景:** 喫煙が呼吸器疾患を増やすことは周知のことだが、新型コロナ重症化との関連はあまり検討されていない。これまでのデータをもとにCOPDおよび喫煙と新型コロナ重症化の関連を明らかにする。

**方法:** 2020年1月1日から4月15日までに発表された英語論文をもとに、メタアナリシスを行いオッズ比を算定した。

**結果:** 22論文13,184名の確定診断を受けた新型コロナ患者 (55%男性) を解析対象とした。重症化した患者は、高齢の男性に多かった。**呼吸器疾患 (OR 4.21; 95% CI, 2.9-6.0) と喫煙 (現在喫煙 OR 1.98; 95% CI, 1.16-3.3、過去喫煙 OR 3.46; 95% CI, 2.46-4.85) が重症化リスクを有意に高めていた。**

**考案:** 呼吸器疾患とりわけCOPDおよび喫煙は新型コロナ重症化と関連していた。これらの結果は予防対策を立案し、臨床の場において重症化を防ぐ治療を適切に行ううえで有益である。